

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者様の機能低下が進んだことにより、レクリエーション活動が難しくなっている。	参加型レクリエーションの実施	入居者様の機能低下が進み、レクリエーション活動が難しくなる状況にあるものの、入居者様が継続的に参加活動できるレクリエーションを見出すことで、より楽しい生活を過ごすことができるように図りたい。	6か月
2		地域の高齢化も影響して交流活動が希薄になりつつあり、地域への貢献活動も含め、対応を図りたい。	地域の皆様との勉強会の開催	認知症に限らず、役に立つ知識や技術をホーム職員・入居者様、また、地域の皆様と学び交流を図っていききたい。	10か月
3		機能低下・意欲低下が見られ、活動が損なわれてきている。	入居者様の機能維持と新たな生き甲斐を求める取り組みの実施	発想の転換を図り、今以上の機能維持、または、生活に生き甲斐を見い出せるように入居者様と一緒に様々な活動を図っていききたい。	12か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。